

【様式】 令和3年度 高志中学校 学校関係者評価書

<p>(問)</p> <ul style="list-style-type: none">・学校評価書の成果と課題が適切であったか。・成果と課題を踏まえて今後の改善策・向上策が適切か。
<p>(意見を聞いた方)</p> <ul style="list-style-type: none">・高志高校・中学校PTA会長(1名)、副会長(2名)
<p>(意見欄)</p> <p>○1教務部関係</p> <ul style="list-style-type: none">・中高一貫だからできる先取り学習により学習意欲及び学力の向上につながったと生徒が評価している点からみても適切である。英語学習においても到達目標が明確であるため適切である。・「成果と課題」、「改善策・向上策」共に適正である。デジタル教科書などICTの活用で、これまでの紙からではない動画などの視覚からの訴えかけにより、幅広い分野で生徒の興味関心が高まるのではないかと。 <p>○2生徒支援部関係</p> <ul style="list-style-type: none">・中学生の時に高校生の行動や考え方を早く学ぶことは中高一貫の大きな特徴の一つであり、早くから次を見据える自覚を促す意味においても重要なことである。コロナ禍により運営が大変な面もあるが、向上策などは適切である。・「成果と課題」、「改善策・向上策」共に適正である。コロナウイルス感染拡大により、中高生の交流がしにくい1年間であったが、「高志交流祭」の企画実現など、引き続き中高生が関わる場を設けることで高校生から更に多くの刺激を受けるのではないかと。 <p>○3研究支援部関係</p> <ul style="list-style-type: none">・他の中学では経験できないような「シンガポール研修」がコロナウイルス感染症拡大で中止になったことは非常に残念である。可能であれば、日本国内にあるインターナショナルスクールや国際系の大学(例 国際教養大学など)と提携するなどして、グローバルな視点をもつ方々に自分の地域のことを説明し、「ふるさと」を世界に発信するきっかけをつくるなどの工夫をしてほしい。・「成果と課題」、「改善策・向上策」共に適正である。本来の授業が計画的に行えない中、「ふるさと教育」に関する授業を取り入れるのは、大変困難であると思うが、生徒達は目標を達している。コロナ禍である現状では、オンラインミーティングなどを活用し、県内外・海外との交流を進めてほしい。 <p>○4教育相談</p> <ul style="list-style-type: none">・生徒のケアを細かく行うアンケートや生徒支援のために先生同士で情報を共有する仕組みをつくることは適切である。・「成果と課題」、「改善策・向上策」共に適正である。今後も、面談やアンケートを活用しながら、生徒の小さな悩みや心配事を把握し、生徒の悩みを各学年の担当教員間で情報を共有するとともに、素早い支援策を講じてほしい。 <p>○5感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none">・感染しない対策だけでなく、不安に対してのケアが重要であり、その対策をしていることは適切である。・「成果と課題」、「改善策・向上策」共に適正である。学校生活で生徒は窮屈さを感じている部分もあるかもしれないが、引き続き感染症対策をしっかりと講じてほしい。

○6働き方改革

- ・学校生活を充実させたい思いと休みや残業時間とのはざまで本当に対応は大変であるが、改善策は適切である。
- ・「成果と課題」、「改善策・向上策」共に適正である。先生が、生徒と向き合う時間を増やすことと休暇取得日数を増加させることは、相反することかもしませんが、うまく時間調整をして休暇の取得しやすい職場環境にしていきたい。

○全体

- ・御校ならではの学習や行事は、近年のコロナウイルス感染拡大により、計画どおりの実施が困難になっている。今後も、ICT活用や代替策などを講じ、極力生徒達の学びの機会を減らすことのないようしていきたい。
- ・コロナ禍の中、先生方も生徒達も意欲的に活動しておられ、素晴らしいと感じている。感染はなかなか落ち着かないが、今後も創意工夫して学習を進めてほしい。高志中学生の活躍を楽しみにしている。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・学校関係者から頂いた御意見を令和4年度の各校務分掌の具体的取り組みに活かしていく。
- ・より適切な学校評価にするために、頂いた御意見をもとに学校評価の質問項目を考える。